

今夏、東京も38度を記録する猛暑となった。外に出ると体温より温かい風がなんとも心地悪く、室内に籠もりエアコンをフル稼働である。我が家の愛猫も比較的冷たい廊下に陣取り寝そべるばかり。お盆過ぎになって漸くベランダの朝顔が咲き、強い日差しを和らげてくれた。そんな中、今年はオリンピックである。暑さも忘れてテレビにかじり付く。日本の選手の頑張る姿に応援、応援、そして感動。

『物流問題研究65号（2016年夏）』特集の部は、現下注目されている「物流の労働環境改善の取り組み」を取り上げた。特に、労働時間については他の業種に比較して極めて長い状況となっており、時短への取り組みが喫緊の課題だ。加えて、平成31年4月には中小事業者においても60時間超の時間外手当は50%割増となる。時短実現に向けた早急な対策が求められている。本稿では物流業の実態や様々な対応策を紹介していただいた。執筆者の皆様には、この場を借りてお礼を申し上げたい。

本誌は本学ホームページに掲載しており、誰でも閲覧できる。「知の共有」の場として少しでも役立てばと考えている。

なお、本誌の掲載論文ならびにロジスティクス産学連携コンソーシアムのタイムリーな活動情報も、ホームページにも掲載しており、是非お立ち寄りいただければ幸甚である。

<http://www.rku.ac.jp/about/data/organizations/laboratory.html>

小野